

2011年  
5月15日  
No.117

# さざなみ

〒520-0043  
大津市中央1丁目5-25  
小堀マンション2030号室  
**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-522-7868

## 滋賀・憲法のつとめ 拉致問題は憲法9条の精神・対話で打開を

第7回滋賀・憲法のつとめが、5月3日大津市生涯学習センターで開かれ、会場いっぱいの400人が、さざなみネットからは3人が参加しました。

「9条は今、2010 in Shiga」(映像プロジェクト)が上映された後、「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」元事務局長の蓮池透さんが「憲法9条と拉致問題」と題して講演しました。

蓮池さんは、「制裁一辺倒では打開の道は開けない」と考えるようになり、拉致問題は憲法9条の精神・対話で打開をと主張してきたが、家族会と意見が分かれ除名されました。弟さんの苦悩や母の心にもふれて、「心から笑えるようにしてやりたい」と拉致問題解決への強い思いを語りました。

蓮池さんは元東京電力の幹部職員でした。原発の潜在的な危険性について「危険と捉えていけば安全に、安全と捉えていけば落とし穴がある」と「安全神話」による東電の安全管理の実態に触れていました。



講演をする蓮池透さん

### 金融ユニオン 第6回中央執行委員会

## 情報を共有し役割を果たそう

5月7日、金融ユニオン第6回中央執行委員会が、金融労連本部会議室において開催されました。さざなみネットから山崎書記長が参加しました。

松井金融ユニオン書記長から活動経過報告があり、金融労連地方代表者会議で出された意見について、また労働相談があった生命保険会社の正社員の組合員資格などについて討議しました。

(議題)・2011年春闘について

「自粛ムード」があるが、情報を共有し労働組合としての役割を果たしていくことを確認しました。

・機関紙について

職場で起きている出来事や写真などを応募し、身近な機関誌にしていこう。

・役員体制について

次期本部役員体制やの選挙日程などについて討議しました。

●金融労連や金融ユニオンの組織の在り方などについて、種々の会議で意見や疑問が出てきている。大会に向け討議をしていく必要があります。



岩波美智子さん 画

・仙台銀行の組合員の自宅が津波により流出。家族と連絡が取れない、自宅の損壊や避難所暮らしの仲間は数多い。(「金融労連」3月25日)  
・仙台銀行のパート労働者1名が現在まで行方不明になっている。(「金融労連」4月25日)  
・いわき信金で2名の職員が死亡。5信金が店舗の流出や原発事故での立入禁止区域内の店舗になっている。(「金融労連」4月25日)  
・七十七従組OB会の女性が津波で逝去。岩手・東北・七十七の会員の「親・兄弟・親戚」の方々の犠牲・自宅流出などの被災は、数えきれない。(「七十七の会ニュース」5月10日)  
・七十七銀行の女性行員が、支店長の指示のもと店舗2階屋上に避難し、津波にのまれ死亡。行方不明者が残り11名いる。本店対策室や行内ボランティアで連日探している。

(「金融ユニオン」5月10日)

東日本大震災による仲間の情報

